

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.5
平成25年5月28日

5年生の成長に拍手を

5月21日(火)、22日(水)と5年生が美浜の少年自然の家に野外教室に出かけました。出発式では実行委員が、とても大きな声できびきびした規律ある司会進行を行い、集団行動の徹底した規律ある野外教室の成功を予感させるような素晴らしいものでした。

予感どおりすべての活動において、互いに協力しながら規律ある活動ができたようです。海辺の自然観察では、美浜の海の美しさを肌で感じ、キャンプファイヤーではクラスのスタンツを一杯発表できました。また、野外炊飯では、安全に気を付けながら、皆が協力してご飯を炊いたり、カレーライスを作ったりすることができました。初めての体験で、悪戦苦闘する班もありましたが、自らの手で作ったカレーライスの味は格別であったようです。

その他、部屋の清掃や寝具の後片付けなども、「来たときよりも美しく」を合い言葉に丁寧にできました。

5年生児童68人全員が参加できた野外教室は、集団行動の定着、集団の一員としての自覚、たくさんの「桜っ子しぐさ」の発見など、様々な場面で5年生の成長が見られ、成功裡に終わることができました。5月27日(月)の全校朝礼では、5年生の頑張り、成長を全職員・全校児童で認め、賞賛の拍手を贈りました。

全校朝礼の話よりーすてきな行いについて(5/27)

今日は、すてきな子ども達の話をししましょう。

まず一つ目です。ある朝、校長先生が、家庭ごみを集積場所に出していたら、ランドセルを背負ったある女の子が、白いゴミ袋をもって、集積場所に出しているのです。お家のゴミ袋を出しているのです。小さな小学生が家のお手伝いで、とても手慣れた様子でゴミを出しているのです。

校長先生は、恥ずかしながら最近になって、やっと家庭ごみの収集日に、妻に替わってゴミを出すようになりました。それまでは妻に任せきり、出したことはありませんでした。

校長先生の地区のゴミ集積場所もカラスがゴミを引きずり出さないように、黄色のネットで囲むようになっていきます。その女の子は、とても丁寧に黄色のネットでゴミ袋を覆い、ブロックで押さえていました。家族の一員ですから、お家の仕事をすることは、当たり前ですが、その当たり前のことを自然に行えるということはとてもすてきなことです。この女の子のすてきな行いに感心しました。お家の方も、きっと喜んでいらっしゃると思います。

二つ目は、朝、通学団で6年生の子が、1年生の子の手を引いて登校してきます。6年生の子は、もちろん「おはようございます」と、あいさつをしました。でも、入学したばかりの1年生は、きょとんとしています。すると、すかさず、6年生の子は、「ここで、おはようございますとあいさつをするんだよ。校長先生にもきちんとあいさつをしてね」と、教えてあげていました。今では、その1年生の子は、自分からあいさつをできるようになってきています。6年生の子が、あいさつができるように育ててくれたのです。とても素晴らしいことだと感心しました。

まだまだ、すてきな子ども達は、たくさんいます。これは、3月に卒業した6年生の女の子が、「校長先生、どうぞ」と、校長先生に手渡してくれたものです。これを見てください。「一生懸命」という字を見る度に、「一生懸命がんばらなければいけない」と、改めて自分自身を鼓舞しています。また、「心ひとつに」という字を見ると、教師も児童も「心をひとつに」皆が協力しなければいけないなあと思います。分離して職員の数は減りましたが、先生方は、学級・学年の枠を超えて、互いに助け合い、協力していてくれます。本当にありがたいことです。

児童のみなさんも、今まで以上に「心ひとつに」して、何事にも取り組んでほしいと願います。そうすれば、先ほどの全校合唱でも、もっともっとすばらしい歌声が響き渡ると思います。

一生懸命
心ひとつに

